

第101回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年12月21日（水） 16：00－17：00

2. 場所：中央合同庁舎4号館4階 第4特別会議室

3. 出席者

（1）委員

後藤委員長、常田委員長代理、遠藤委員、片岡委員、櫻井委員、篠原委員、鈴木委員、松尾委員

（2）オブザーバー

森昌文内閣総理大臣補佐官、山川 JAXA 理事長

（3）事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局：河西局長、坂口審議官、滝澤参事官、加藤参事官

（4）関係省庁

総務省国際戦略局宇宙通信政策課 小川課長

文部科学省研究開発局 原審議官

経済産業省大臣官房 恒藤審議官（製造産業局担当）

国土交通省総合政策局技術政策課技術開発推進室 川村室長

環境省地球環境局総務課気候変動観測研究戦略室 山田室長

防衛省防衛政策局 安藤局次長

4. 議事要旨

（1）宇宙基本計画工程表の改訂について

事務局から資料1及び資料2に基づき、宇宙基本計画工程表改定案に関する説明を行った。委員からは以下のような意見があった。

- 人材育成にあたっては、産業界における若手職員も視野に入れて取り組んで欲しい。
- 日米連携は重要である。また、国家間協力にあたってはスピード感を持つことが重要ではないか。
- 米国の取組に対して協力するためにも、日本が要素技術を有することが大切である。技術面の強みについてしっかり取り組むべき。
- ベンチャー企業への支援もちろん重要だが、防衛省が防衛産業で取り組んでいるように、既存の宇宙産業のプレイヤーに対する支援もしっかりと行うことが必要である。あわせて、ベンチャー企業と大企業との連携についても考える必要がある。

審議の結果、宇宙基本計画工程表改訂案は案のとおり了承され、宇宙開発戦略本部へ報告することとなった。

以上